



第77回

葉山盆栽愛友会

秋も深まった十月下旬、第四〇回葉山町文化祭が開かれ、会場の福祉文化会館大会議室に、見事な盆栽が並びました。手のひらサイズのものからメートル近い黒松まで、大きさも種類もさまざまな盆栽は、葉山盆栽愛友会の皆さんが、丹精込めて育てた自慢の作品です。

葉山盆栽愛友会は、三〇年近い歴史を持つ趣味のサークルです。最初は盆栽同好会として活動を続けていましたが、平成元年に名称を『愛友会』に変えて、再出発しました。会員は男女合わせて二八人。職人や大学の先生、元銀行員など職業はさまざまです。夫婦で入会している会員も二組います。

定例の活動日は月一回、第二日曜日に持ち回りで会員宅に集まり、情報交換などを行っています。春と秋には日帰りバスで、盆栽見学会を実施します。今秋は埼玉の深谷市まで足を延ばし、雑木の盆栽を観賞してきました。

また新年会や暑気払いを兼ねた夏の懇親会も、大いに盛り上がりです。

『縮小芸術』の粹とも言える盆栽は、大変に奥が深く、いい盆栽を育てるには心のこもった世話が欠かせません。「盆栽は子育てと同じ。毎日いつくしみながら水をやり、日当たりなどにも配慮する。手抜きは絶対にいけません」と会長の海老原次さん。八〇歳を超えた今も、奥さんと二人で大小一〇〇鉢近い盆栽の世話に余念がありません。盆栽大好き人間がそろい、和気あいあいの会ですが、悩みは高齢化です。会員の大半を六〇七〇代が占め、会の活性化のためにも「ぜひ若い人の入会を」と、若返りに力を入れています。



葉山歌壇俳壇

◎特選 *共選

短歌

岡田 保子 選

◎秋吉台・秋芳洞とめぐり来て人の生くるは何ほどの事 柳沢 千雪
 (評)山口県の有名な鍾乳洞で太古より一滴一滴の成す大自然の営みを目の辺りにした時、人の一生を映しみた作者の感慨が結句に現わされています。

三角の頭か上げて空をみるかまきりきみにももの思う秋
 畑より戻りまさぐるポケットの道に拾いしさまざまの秋
 旅にきて孫への文は最北端宗谷局印ボンと押さるる
 その椅子にわが身沈めぬじき夫はベランダの花をこより愛でる
 いつの間に相槌打てる相手なく虚空に問ふて「ね、おかあさん」
 ほどほどの間を取り合ひて水浴びすかるがも一家のここは楽園
 秋深し小鳥の鳴く音透きとほり何処より来しわれの狭庭に
 昼ちかく折々見かける試歩の人帰りの道か少し重たげ
 熱っぽくウランの未来を説く技官自負か時をり眼鏡光らす
 近藤 糺

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎柿簾母在りし日の生家かな 川崎 虎康
 (評)干柿の傍題を柿簾という。洪柿の洪をぬく為干され、やがて白い粉を刷くようになると非常に甘くなる。軒下に吊るされた柿のれんの夕映えはこのほか美しい景観である。作者は生家のたたずまいを懐古しているのだ。

◎長き夜や少し離れて妻の居り 村上 権次
 (評)非常に平明でむずかしいことは言っていないが、情のある点にひかれました。年齢を感じさせるのは季語の働きによるもの。それとともに、口数は少ないけれども夫婦お互いに信じ切っているのだろう。しみじみとした句に共感します。

くれなるの色散り交ふや乱れ萩 伊藤 桃子
 (評)萩は秋(九月)の季題で、秋の七草の一つである。長い穂状をした紅や白色のかわいい花をつける。中七の「色散り交ふや」が乱れ萩に効果的である。僕の句に「こぼるるはこぼして萩の盛りかな」がある。

身の程の賽銭ことり爽やかに 片山 久女
 (評)身の程と言うからには、それほどの金ではないはず。しかしながら爽やかという季語が、賽銭のことりという音に照応して生かされると言えます。

*押し花にして残したし秋の草 熊本 京子
 行く秋ぞやうやく捨てし古き釜 深海志津枝
 秋うらら日光杉の下駄の店 石川 光子
 野分あと大鳥指呼に横たはる 伊藤 青嵐
 群れ離れ高々と舞ふ赤とんぼ 高梨 民雄

*押し花にして残したし秋の草 川崎 虎康
 十六夜や猫忍び寄る膝の上 熊本 京子
 二度咲きの金木犀は天辺に 伊藤 青嵐
 惜しみなく秋日を受けて庭仕事 深海志津枝

初水牛舎に牛の動く音 近藤 糺
 十六夜や猫忍び寄る膝の上 川崎 虎康
 行く秋ぞやうやく捨てし古き釜 熊本 京子
 二度咲きの金木犀は天辺に 伊藤 青嵐
 群れ離れ高々と舞ふ赤とんぼ 高梨 民雄

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑詠)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画課「葉山歌壇俳壇係」まで

生産者と消費者のつどい



11月18日上山口の杉山神社周辺で『生産者と消費者のつどい』が行われました。里芋掘りとこんにゃく作りの後、葉山牛と野菜の試食会、おもちゃつきを行い、生産者の皆さんと消費者の皆さんとの交流を図りました。



女と男のアンサンブル



11月16日福祉文化会館ホールで女と男のアンサンブル『私たちは「ヘアテの贈りもの」をどう活かしてきたか』として江刺昭子さん（ノンフィクション作家・女性史研究者）に戦後のさまざまな女性のチャレンジについてお話を伺いました。



◆葉山まちづくり館ギャラリー
12月展示

12月1日(金)～28日(木)(4日・11日・18日・25日(全て月曜日)・14日(木)は休み) 10時～17時30分 図書館2階「地域に学ぶ中学生」南郷中学校と葉山中学校の地域学習の成果を紹介 南郷中学校は「FGC(葉山の良い暮らしを発見する活動)」を中心に、葉山中学校は「ふれあい講座」での活動を展示 図 ☎876-0421 NPO法人葉山まちづくり協会

◆17回 葉山墨心会展

12月3日(日)～12月8日(金)(12月5日(火)休館日) 10時～16時 返子文化プラザホール 墨の世界を楽しみながら描いています。全国展・グループ銀座展・海外展に出品する人もいます。 図 ☎875-8670長 875-6185宮田

◆歳末助け合い托鉢(たくはつ)

12月7日(木)13時から 笠摺～真名瀬 図 ☎875-0229光徳寺(葉山仏教会)

◆定例ボランティア活動

12月9日(土)9時30分から 介護老人福祉施設「葉山清寿苑」どなたでもどうぞ 図 ☎875-6734 大熊(町ボランティア連絡協議会)

◆まなび屋葉山塾説明会

12月9日(土)15時～16時、12月17日

(日)11時～12時 一色小学校新館 対象 小・中学生 放課後、土日の子どもの活動の場を提供します 図 ☎876-3036長塚(学舎KOCO(ここ))

◆橋本陽子クリスマスコンサート

12月15日(金)19時開場 19時30分開演 返子文化プラザさざなみホール 1,500円 橋本陽子(返子在住)のピアノ弾き語りコンサート ゲスト 西田けんたろう(vn) 図 ☎090-6545-8771 橋本

◆幸保愛児園クリスマスの集い

12月16日(土)13時15分～15時30分 福祉文化会館ホール 聖劇、KOBOエパーグリーンズ演奏 ジョー山中さん(ロック歌手・卒園生)も出演 どなたでもどうぞ 図 ☎875-1268幸保愛児園

◆湘南国際村アカデミア「動物の骨が語る古代人の暮らし」

12月16日(土)13時30分～15時 総合研究大学院大学(湘南国際村内) 同大の本郷一美助教授が「考古学・人類学」の最新研究成果を講演 セミナー終了後に総研大研究者によるサイエンスカフェ(交流会)を開催 自由参加 150人(定員を超えた場合は抽選/連絡がなければ参加可) 住所、氏名、電話番号をe-mail: info@k-face.orgで、12月15日(金)締切 図 ☎855-1822 かながわ学術研究交流財団

◆犬のしつけ教室

12月17日(日)10時～11時30分 南郷上ノ山公園 犬のしつけ教室・飼い主のマナー教室 講師 佐藤美津子さん(ヨコスカドッグスクール)*飼い主の皆さん、散歩の時は犬の糞を必ず持ち

帰りましょう。 図 ☎875-3492本間875-0119三橋

◆野崎弥寿子クリスマスシャンソンリサイタル2006

12月24日(日)14時開演 福祉文化会館 前売り1,000円 当日1,200円 花井研(ピアノ) 年代、民族を越えたシャンソンの不朽の名曲の数々 図 ☎876-1710オフィスノザキ

◆返子名越谷戸シンポジウム

1月6日(土)13時～16時30分 返子文化プラザさざなみホール 基調講演「生物多様性保全と市民による里山管理」中村俊彦さん(千葉県立中央博物館) 意見交換 図 ☎870-3488出島(返子名越緑地里山の会)

◆京急バス『ふれあいバス』発売

70歳以上の人が、京急の一般路線バス全線で自由に乗降できる『ふれあいバス』を発売 1月1日(月)～6月30日(土)(6ヶ月間) 20,000円 年齢が確認できる書類と顔写真(横2.4cm×縦3.0cm)1枚を持って、京急バスの各営業所へ 図 ☎873-5511返子営業所 836-0836衣笠営業所 京急バス

◆剣道会員募集

毎週日曜日 9時～11時50分 上山口小学校体育館 運動のできる服装 竹刀は貸し出します 図 ☎090-7733-3661竹山茂口ベルト(葉山創武館)

掲載を希望するときには、掲載したい月の前々月末日正午までに、企画課(☎内線333)へお電話ください。営利目的のもの、宗教・政治色の強いものは掲載できません。